

平成 29 年度 新宿区中小企業景気動向調査票

平成 29 年 1～3 月期

問 1 貴社の業況(※)は、今期(平成 29 年 1～3 月期)と来期(平成 29 年 4～6 月期)で、いかがでしょうか。それぞれ該当する番号に○を1つお付けください。

※貴社の景気、または貴社を取り巻く周辺環境などの状況からご判断ください。

今期(平成 29 年 1～3 月期)の業況					来期(平成 29 年 4～6 月期)の業況予想				
良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 1-1 問 1 の今期の業況判断の理由として、重要度の高いものを 3 つ以内で回答欄にご記入ください。

1 国内需要(売上)の動向	7 株式・不動産等の価格の動向
2 海外需要(売上)の動向	8 為替レート(の動向)
3 販売価格の動向	9 税制・会計制度の動向
4 仕入価格の動向	10 同業者間の競合
5 仕入れ以外のコストの動向	11 その他()
6 資金繰り・資金調達の動向	

回答欄

問 2 売上額・収益・資金繰り等の動き(前期に比べて)は、今期(平成 29 年 1～3 月期)と来期(平成 29 年 4～6 月期)で、いかがでしょうか。それぞれ該当する番号に○を1つお付けください。

(1) 売上額

前期(平成 28 年 10～12 月期)に比べて今期(平成 29 年 1～3 月期)の実績					今期(平成 29 年 1～3 月期)に比べて来期(平成 29 年 4～6 月期)の予想				
増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(2) 収益

前期(平成 28 年 10～12 月期)に比べて今期(平成 29 年 1～3 月期)の実績					今期(平成 29 年 1～3 月期)に比べて来期(平成 29 年 4～6 月期)の予想				
増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(3) 資金繰り

前期(平成 28 年 10～12 月期)に比べて今期(平成 29 年 1～3 月期)の実績					今期(平成 29 年 1～3 月期)に比べて来期(平成 29 年 4～6 月期)の予想				
楽	やや楽	変わらず	やや苦しい	苦しい	楽	やや楽	変わらず	やや苦しい	苦しい
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(4) 人手(従業員、パート、その他を含む)

前期(平成 28 年 10～12 月期)に比べて今期(平成 29 年 1～3 月期)の実績					今期(平成 29 年 1～3 月期)に比べて来期(平成 29 年 4～6 月期)の予想				
過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足	過剰	やや過剰	適正	やや不足	不足
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問3 現在の経営上の問題点として、重要度の高いものを3つ以内で回答欄にご記入ください。

1 売上の停滞・減少	16 工場・店舗・設備等の狭小・老朽化
2 人手不足	17 輸入製品との競争の激化
3 同業者間の競争の激化	18 仕入先からの値上げ要請
4 利幅の縮小	19 取引先の減少
5 人件費の増加	20 材料価格の上昇
6 人件費以外の経費の増加	21 親企業による選別の強化
7 代金回収の悪化	22 為替レートの変動
8 天候の不順・自然災害	23 商圏人口の減少
9 顧客・ニーズの変化・減少	24 技術力の不足
10 大手企業・工場の縮小・撤退	25 下請の確保難
11 大手との競争の激化	26 販売商品の不足
12 合理化の不足	27 その他()
13 地価の高騰	28 問題なし
14 駐車場の確保難	
15 販売納入先から(又はサービス料金)の値下げ要請	

回答欄

問4 今後の経営上の取り組みとして、重要度の高いものを3つ以内で回答欄にご記入ください。

1 販路を拡大する	16 不動産の有効活用を図る
2 新しい取引先を見つける	17 労働条件を改善する
3 新しい事業を始める	18 新たに店舗・工場・設備を増設する
4 既存事業で新商品・新サービスを開発(又は取り扱い)する	19 店舗・工場・設備の耐震補強を行う
5 品揃えを改善する	20 店舗・工場・設備の省エネルギー化を行う
6 商店街事業を活性化させる	21 既存の店舗・工場・設備を改修・改装する
7 宣伝・広報を強化する	22 IT化を推進する
8 技術力を強化する	23 不採算部門を整理・縮小する
9 情報力を強化する	24 その他()
10 人材を確保する	25 特になし
11 人材育成を強化する	
12 後継者を育成する	
13 人件費の見直しをする	
14 人件費以外の経費を節減する	
15 新たな資金調達先を見つける	

回答欄

問5 現在の貴社の経営状況について差し支えない範囲でご記入ください。

※収益の増減理由や取引先との関係など具体的にお書きください。

[特別調査] 「働き方を取り巻く環境について」

問 1 近年、仕事と生活の調和（ワークライフバランス）など、働き方に関する様々な取組が注目されています。貴社には役員ではない従業員（パート・アルバイト等含む）はいらっしゃいますか。該当する番号に○を1つお付けください。

従業員の雇用状況			
1	いる	2	いない →問 5 へ

問 2 貴社で実践している『労働時間短縮に関する取組』について、該当するすべてに○をお付けください。

労働時間短縮に関する取組について	
1	ノー残業デーの設定
2	全社一斉消灯による強制退社
3	時間外勤務の事前申請徹底
4	フレックスタイムの導入
5	プレミアムフライデーの導入
6	残業時間等の数値目標設定
7	業務量に見合った人員配置（増員含む）やワークシェアの推進
8	短時間勤務制度導入
9	パートやアルバイトの活用、外部委託化の推進
10	業務効率を上げるための従業員への人材育成（研修等）
11	従業員への啓蒙（ポスター掲示・研修等）
12	その他（具体的に： _____）
13	取組を検討中
14	取り組みたいが手が回らない
15	特になし（必要なし）

問 3 貴社で実践している『育児や介護と仕事の両立推進に関する取組』について、該当するすべてに○をお付けください。

育児や介護と仕事の両立推進に関する取組について	
1	在宅勤務やテレワーク（サテライトオフィス含む）
2	時差出勤、短時間勤務を可能とする制度
3	フレックスタイムの導入
4	所定時間外労働の制限
5	育児や介護を理由とした離職者の再雇用制度
6	自社内の諸制度利用範囲の拡大（例：対象者をパート・アルバイトにも拡大）
7	その他（具体的に： _____）
8	取組を検討中
9	取り組みたいが手が回らない
10	特になし（必要なし）

問4 貴社の女性従業員（パート・アルバイト等含む）は、どの程度いらっしゃいますか。該当する番号に○を1つお付けください。

女性従業員の割合			
1	0%	4	30%以上 50%未満
2	0%超 10%未満	5	50%以上
3	10%以上 30%未満		

問5 （すべての方にお聞きします）女性が活躍しやすい環境づくりのために必要だと思われる取組や施策について、該当するすべてに○をお付けください。※女性が働いていらっしゃらない場合は、推進に必要だと思われるものをご回答ください。

女性が活躍しやすい環境づくりのために必要だと思われる取組や施策	
1	労働時間短縮
2	有給休暇取得の促進
3	育児休暇（休業）制度の充実や取得促進
4	介護休暇（休業）制度の充実や取得促進
5	育児や介護で使用可能な時短勤務
6	テレワーク（サテライトオフィス）の導入
7	フレックスタイムの導入
8	各種休暇の取得や時短勤務ができるよう、従業員や管理職の意識を変えていくこと
9	育児や介護を理由とした離職者の再雇用制度
10	自社内の諸制度利用範囲の拡大（例：対象者をパート・アルバイトにも拡大）
11	えるぼし※1、くるみん※2の認定取得
12	その他（具体的に： _____ ）

※1 えるぼし認定…女性活躍推進法の取組のひとつ。法律に基づき策定した一般事業主行動計画を都道府県労働局に提出し、取組の実施状況が一定の基準を満たした企業が申請を行うことで、厚生労働大臣の認定を受ける制度。充実度合で、1つ星から3つ星に分けられる。

※2 くるみん認定…次世代育成支援対策推進法の取組のひとつ。法律に基づき一般事業主行動計画を策定し、取組の実施状況が一定の基準を満たした企業が申請を行うことで、子育てサポート企業として厚生労働大臣の認定を受ける制度。現在は、くるみん認定より更に進んだ制度導入を行う企業に、プラチナくるみん認定も行われている。

問6 働き方を取り巻く環境について、ご自由に記入してください。特に、女性が活躍しやすい環境づくりのために貴社で現在実施されている取組がありましたら、ご記入頂けますと幸いです。

お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。